授業科目	＊グラマー・コンポジションⅡ					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	必修	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	塚本　美紀						
授業概要	前期で学習した英文法の知識を土台とし、さらなる文法問題演習を行うことで文法の基礎を固める。理解を深めるために、学習した英文法を使って英語で文章を書いたり、話したりしながら、文法知識のさらなる定着と発信のための運用力の向上を図る。						
授業形態	講義・演習			授業方法	Google フォームで質問に対応し、Google クラスルームに置いている資料によって自主学習の支援を行う。		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．英文法の基礎（用法・機能・意味・特殊表現等）を理解し、正しい文法を選択することができる。 2．学習した文法知識を基にして、正しい英文を書くことができる。
理想的レベル	1．英文法の基礎（用法・機能・意味・特殊表現等）を理解し、正しい文法を選択することができるだけでなく、その文法項目に関して人にわかりやすく説明することができる。 2．学習した文法知識を基にして、正しい英文を書けるだけでなく、ある程度まとまった文章を英文で書くことができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	60%	
小テスト	30%	
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）	10%	
レポート外の提出物		
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	EN11104J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
予習として練習問題を解き、復習として次回の小テストの準備をする。	4

授業計画

第 1 回	テーマ： Unit69-74 Articles and nouns (1) 可算名詞、不可算名詞、不定冠詞について解説と演習を行う。
第 2 回	テーマ： Unit75-81 Articles and nouns (2) 定冠詞と単数形と複数形について解説と演習を行う。
第 3 回	テーマ： Unit 82-86 Pronouns and determiners (1) 代名詞について解説と演習を行う。
第 4 回	テーマ： Unit87-91 Pronouns and determiners (2) 限定詞について解説と演習を行う。
第 5 回	テーマ： Unit 92-97 Relative clauses

	関係代名詞について解説と演習を行う。
第 6 回	テーマ： Unit 98-103 Adjectives and adverbs (1) 形容詞と副詞について解説と演習を行う。
第 7 回	テーマ： Unit 104-108 Adjectives and adverbs (2) 比較級と最上級について解説と演習を行う。
第 8 回	テーマ： Unit 109-114 Adjectives and adverbs (3) 形容詞や副詞の語順について解説と演習を行う。
第 9 回	テーマ： Unit 115-120 Conjunctions and prepositions 接続詞と前置詞について解説と演習を行う。
第 10 回	テーマ： Unit 121-126 Prepositions (1) 各前置詞の用法について解説と演習を行う。
第 11 回	テーマ： Unit127-131 Prepositions (2) 名詞+前置詞、形容詞+前置詞について解説と演習を行う。
第 12 回	テーマ： Unit132-136 Prepositions (3) 動詞+前置詞について解説と演習を行う。
第 13 回	テーマ： Unit 137-141 Phrasal verbs (1) in, out, on, off を用いた句動詞について解説と演習を行う。
第 14 回	テーマ： Unit 142-145 Phrasal verbs (2) up, down, away, back を用いた句動詞について解説と演習を行う。
第 15 回	テーマ： これまでの復習とまとめ 前期の内容についての質問について答えながら、後期の振り返りを行う。
テキスト	『English Grammar in Use』 Raymond Murphy 著 （２０１９年） Cambridge University Press 『ロイヤル英文法』綿貫陽 他著 （２０００年） 旺文社
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて指示する。
課題に対するフィードバックの方法	小テストは採点後、返却する。Google フォームに記入された質問については、次の授業で説明する。
学生へのメッセージ・コメント	文法はスピーキング、リスニング、リーディング、ライティングすべてに必要な知識である。理解が曖昧だった文法事項を確実に理解できるようにすることで、英語の表現の幅も広がるし、情報を正しく聴き取ったり読み取ったりすることもできるようになる。文法はすべての基礎。基礎が固まっていくことを意識しながら予習や復習をしっかりやっていこう。